

SSH 鳥取東高校の訪問研修に澁谷拓郎 教授が対応

7月6日（金）午前、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている鳥取東高校生40名が来所しました。最初に生存圏研究所の講演があり、その後、防災研究所紹介DVDの視聴、続いて澁谷拓郎教授が1943年鳥取地震、2011年東北地方太平洋沖地震、地震や津波の発生メカニズム、紀伊半島の地下構造などについて講演しました。P波とS波の被害に対する影響の違いや地震発生確率などについて、活発な質疑応答がありました。

最後に高校生は、場所を地震予知研究センターのテレメータ室に移動し、二班に分かれて、実際の地震観測データ処理装置などを見学しました。



澁谷拓郎教授による講演



地震予知研究センターテレメータ室で実際の地震観測や観測されている地震波形を見学する高校生